



たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

2月の大雪 農業被害

最大800万円無利子融資 県、迅速な対応

総務防災委員長として支援要望

印旛沼舟戸大橋、着工へ



県議会本会議で一般質問を行う滝田敏幸県議

県議会随一の論客として注目を集める印西市選出の滝田敏幸(たきた・としゆき)県議は2月28日、本会議で16年度の質問に登場。北総鉄道運賃問題や国指定廃棄物最終処分、道路整備など、県政の重要課題について執行部と質疑を行いました。特に、2月の大雪による農業被害に対しては県の迅速な対応と支援を要望。森田健作知事から「最大800万円無利子融資を柱とする千葉県災害対策資金を新たに発動」という答弁を引き出すなど、総務防災常任委員長としての政治手腕が高く評価されました。

2月県議会一般質問

滝田議員 去る2月8日から16日にかけて、関東地方にも大雪が降り、2月8日には千葉市で観測史上最大となる33センチを記録した。今回の大雪や強風の影響で、県内各地において農業ハウスの倒壊や農作物被害など、大きな被害が発生し

た。さらに水稲の育苗ハウスも被害を受けた。私の地元である印西市でも、収穫最盛期を迎えたイチゴやトマトを中心に大きな被害が発生し、生産者は施設の撤去や農作物被害の事後対策に追われている。被災された生産者の皆様に

は、あらためて心からお見舞いを申し上げます。被災された生産者が希望を持って、1日でも早く生産活動を再開できるような県によるきめ細かな支援が不可欠であると考えています。そこで、2月8日からの大雪などによる

被害の発生状況はどうか。知事 まずは、被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

今回の大雪などによる農業への被害は、県内各地で発生しており、2月27日現在の被害状況は、園芸施設等が約62ヘクタールで15億3千万円、倒壊した施設内のイチゴやトマト、露地野菜のダイコンなどの作物被害が約100ヘクタールで3億3千万円、全体では約18億6千万円にのぼっています。

滝田議員 農業関係大雪被害に対する県の対応についてうかがう。被災された生産者に対して、県はどのような支援を講じているのか。知事 今回の大雪などにより、大きな被害が発生したこと、県内10か所の農業事務所相談窓口を設置するとともに、被災農家に対し、病気予防のための技術指導などを行っているところ。また、倒壊した施設の復

旧のため、共済金の早期支払や制度資金の速やかな融資を金融機関等に要請するとともに、市町村や農協との連携により、農協からの借り入れを無利子とする県単災害融資制度を本日、発動することにしました。更には、施設等の復旧に向けた支援の充実を、国に要望したところ、新たな支援策が打ち出されたことから、県としては、被災者がこうした施策を活用して、その生産活動を早期に回復できるよう支援してまいります。

要望 滝田議員 今後も、このような自然災害が必ず発生すると考えておかなければならない。栽培管理や農業経営に関する指導、共済制度への加

たきた敏幸・PROFILE

略歴

- 1960年 印西市大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校卒業
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議初当選
- 2003年 印西市議再選
- 2007年 千葉県議初当選
- 2008年 印西市消防団副団長 県議会：総合企画常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2011年 千葉県議再選

現職

- 県議会 総務防災常任委員長 議会運営委員会委員

たきた敏幸県政報告会

北総政経フォーラム 鈴木宗男、来る!

4/23(水)18時~(17:30開場)

印西市文化ホール・多目的室

「安倍政権と日露外交」



会費制

問合せ・参加 月~金・10時~17時
申し込み 滝田事務所・佐藤まで

●県政と印西市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

指定廃棄物最終処分場問題

「オール千葉で解決を」

滝田議員 現在、手賀沼

つていいのか。

終末下水処理場のほか、県

環境生活部長 本年1月

内各地で保管されている8

9日に、国主催の第3回市

千ベクレルを超えるごみ焼

町村長会議が開催され、設

却灰等の指定廃棄物処理

置県に共通する基本的な候

するためには、国による一

補地選定手順等について、

刻も早い最終処分場の確保

議論がなされたところど

が必要。

す。

そこだろうか。指定

現在、国では、市町村長

廃棄物最終処分場候補地選

会議における意見等を参考

定に係る検討状況はどうか

に、本県の地域特性に配慮

印西市で放射線健康調査を実施



高田純・札幌医大教授とともに
手賀沼下水処理場の放射線衛生調査を実施

今後とも正しい知識を県民に提供していくことが必要。

私としても、県の一時保管事業が行なわれている印西市発作地区住民に正しい情報を提供するため、昨年12月、放射線防護学の国際的権威、高田純・札幌医科大学教授を地元へ招き、乳幼児を含む児童・生徒のヨウ素及びセシウムの放射線健康調査、並びに一時保管地区の衛生調査、そして市民向けの放射線セミナーを実施した。

地元の方々から県の一時保管事業についても大変ご納得いただき、信頼関係も

した、千葉県

における候補

地の選定方法

について、鋭意

検討を進めて

おり、次回の市町村長会議

で示したいとしています。

滝田議員 指定

廃棄物の処理に係る

問題は、オール千葉県で一

致団結し、叡智を結集して

解決しなければならず、県

当局においても、引き続き

責任のある対応を行って

いただくよう強く要望す

深まっただと思う。

県が本年1月25日に流

山市で開催した「放射線に

関する講習会」を傍聴した

ところ、専門家が科学的見

地から、分かりやすい講演

をしており、大変有意義と

感じた。

県民が放射線に関する理

解を深め、放射性物質問題

滝田議員

北総線の運賃問題についてうかがう。県は、補助金の継続についてどう認識しているのか。

総合企画部長 運賃値下げによつて、最も利益を受けている2市が、平成27年度以降補助金を支出しないことを表明したこと、現行の値下げスキームによる補助金支出は、県としても大変困難な状況になったと考えています。

このままですと、北総鉄道の主張と相容れず、運賃が元に戻る恐れも大きくなつて

耐震化支援スキームを議論

北総線問題

きたものと認識しています。

滝田議員 運賃値上げを回避するためには、利用客増加に寄与する沿線の活性化策や喫緊の課題である耐震化対策など、運賃値下げ補助金に代わりうる相当の代替案を印西・白井の両市長が示す必要があると思うがどうか。

総合企画部長 印西市と白井市が、現行の運賃値下

に対し、冷静に判断できる

よう、今後も講習会を継続

して開催すべきと思うがど

うか。

防災危機管理部長 「放射線に関する講習会」は、平成24年度から合計13回開催しております。

講習会に参加された皆様からは、分かりやすく、よ

く理解できたとの評価を得

ており、継続的な開催を求

める声も多数寄せられてお

ります。

県といたしましても、県民の方々に、放射線に関する理解をより深めていただくよう、引き続き講習会を開催してまいりたいと思

っています。

きたものと認識していま

滝田議員 運賃値上げを回避するためには、利用客増加に寄与する沿線の活性化策や喫緊の課題である耐震化対策など、運賃値下げ補助金に代わりうる相当の代替案を印西・白井の両市長が示す必要があると思うがどうか。

総合企画部長 印西市と白井市が、現行の運賃値下

再質問

滝田議員 今後、印西・白井両市が沿線市を取りまとめ、

一定の代替案を示した場合には、県として取り組む考えはあるのか。

また、北総鉄道が代替案を受け入れない場合には、運賃問題はどのように展開していくのか

総合企画部長 これまでも、北総鉄道と真摯に話し合う環境を整えば、県としても出来る限り協力することを重ねて申し上げてきており、議員ご提案のような条件が整えば、関係者間の協議の開催など沿線市からの要請についても応じる考えはあります。

もとより、上限運賃の範囲内でのように運賃を決定するかは北総鉄道側の経営判断ではありますが、市側の提案・協議に真摯に対応していただきたいと考えています。

滝田議員 県道柏・印西線印西市浦部地先の歩道整備についてどのように考えているのか。

県土整備部長 当該地区は、小学校の通学路となつていところであるが、歩道が未整備で路肩も狭く、歩行者の安全を確保するため、780メートルの区間について、今年度より水路用地を利用した歩道の整備に着手したところで

す。

現在、設計を進めており、来年度には、地元関係者と調整を図りながら、工事を実施してまいりたい。

印旛明誠高校 教育環境整備へ 県教委の支援を

滝田議員 県立印旛明誠高校についていかがう。教育活動の成果など、現状をどう捉えているか。

教育長 印旛明誠高校は、多様な選択科目の開設や少人数による授業の展開など、単位制高校の良さを生かした丁寧な学習指導を行うとともに、地元大学との連携による講義や充実した進路指導により、広い視野や知識を身に付けた国際的に通用する人材の育成に力を入れているところです。

滝田議員 更なる発展に向けて、県教育委員会としてどのように支援していくのか。

教育長 印旛明誠高校が地域の将来を担うリーダーを育成する学校として更なる発展を遂げるよう、地域の方々の御協力も得ながら、教育内容の充実や教育環境の整備に努めるなど、引き続き支援していきます。

滝田議員 印旛明誠高校は、印西市にとつて極めて重要な学校である。同校が、地域の中心校として学問、勉学はもとより、部活動などあらゆる教育活動の場面において、子どもたちが互いに切磋琢磨できる環境を整え、より活力ある教育活動が展開されるよう、県教育委員会として全面的な支援をお願いしたい。

要望 誠高校は、印西市にとつて極めて重要な学校である。同校が、地域の中心校として学問、勉学はもとより、部活動などあらゆる教育活動の場面において、子どもたちが互いに切磋琢磨できる環境を整え、より活力ある教育活動が展開されるよう、県教育委員会として全面的な支援をお願いしたい。

印旛明誠高の学級増提案へ

再質問

滝田議員 指定廃棄物最終処分場設置に関しては、さまざまな情報が氾濫する中で、

地元の方々から県の一時保管事業についても大変ご納得いただき、信頼関係も

太田昭宏・国土交通大臣への要望活動



県道柏・印西線浦部地先 通学路、歩道整備に着手